

収穫終盤 農作物生育状況

十勝管内では収穫作業が終盤を迎えています。てん菜の収穫は終盤に差し掛かり、長いもなどの根物野菜の掘取作業はピークになりました。

ゆとりみらい 21 推進協議会がまとめた農作物生育状況（10 月 15 日現在）によると、てん菜は移植・直播ともに根周が平年よりやや大きく推移し、「収穫始」も 4 日早くなりました。

今年度は夏期の猛暑の影響から各作物の生育が進み、馬鈴薯が平年より 10 日早く「収穫終」となったほか、大豆においても 10 日早く「収穫始」となりました。

秋まき小麦については、「は種終」および「出芽期」が平年並み、生育は 2 日早く推移しています。

長いもの作柄は、いも長・いも重ともに平年を上回っていますが、いも径・乾物率はやや下回っています。当組合が 10 月 4 日に実施した坪堀調査では、重量・収量ともに前年を 2 割ほど下回る結果でした。また、同 15 日には長いも生産者会議が開催され、5 年産の販売動向や本年産の作況等の報告、取扱計画の協議が行われました。

収穫期が終盤を迎えたことで疲労もピークに達し、交通事故・農作業事故が多くなる傾向があります。日の入が早まるにつれて視界も悪くなるため、無理な作業は避け、ゆとりをもって収穫作業を行うように心がけましょう。

まくべつ産業まつり野菜即売会

10月6日、「第47回まくべつ産業まつり」が百年記念ホール前特設広場にて開催されました（実行委員会主催）。

青空が広がる絶好の行楽日和の中、会場はみのりの秋を味わいに訪れた来場者で賑わいました。

当組合は、馬鈴しょや長いも、かぼちゃ、長ネギといった季節を代表する野菜の即売会を実施し、多数のお客様にご来店いただきました。

お客様からは「野菜即売会を楽しみに会場に来た」というお声を数多くいただき、昼ごろには用意した品物が完売するなど大変好評でした。

ほかにもイベントが盛りだくさんで、飛距離を競う恒例の「女子かぼちゃ投げ大会」には上限の100名がエントリーし、参加者に大きな声援が飛んでいました。

会場は終始活気に満ちあふれ、秋の一大イベントは大盛況でした。

